

平成20年度 指定管理者モニタリングレポート

施設名	市営宮妻峡ヒュッテ
所在地	四日市市水沢町字冠山22番
指定管理者	名称 特定非営利活動法人 自然と子供を育てる会 代表者 理事長 笹間 賢二 住所 四日市市笹川五丁目10-6
モニタリングの実施方針・方法等	本施設の管理運營業務の確認にあたっては、管理運営状況を事業報告書、 実地調査、利用者アンケート、指定管理者へのヒヤリング等により把握しました。 その後、指定管理者の選定に用いた選定基準等に示された項目ごとに、次 葉の通り、具体的な業務の履行状況等についての確認結果をコメントしたう えで、「モニタリングの総合コメント」及び「今後の業務改善に向けた考え 方」を記載しました。
担当部課 (問合せ先)	商工農水部 商業観光課 TEL : 059-354-8175 E-mail : syougyoukankou@city.yokkaichi.mie.jp

■ モニタリングの総合コメント

仕様書に定める施設の維持管理等の業務を適正に実施されていました。また、ボランティアを募った清掃活動（クリーンアップ宮妻峡）や自然の素材を使った流しそうめんの企画など、自然と親しみかつ環境に配慮した事業を企画実施されていました。また、利用実績については、当初計画した施設利用収入は達成できなかったものの、利用者数では昨年を上回るものとなりました。これらのことから、当該施設の設置目的である市民が自然に親しみ、健康増進を図る場として提供することができたと総合的に判断し、良好と評価します。

■ 今後の業務改善に向けた考え方

自然体験の企画やボランティアを募った清掃活動等の実績を活して、更に、多くの市民が自然に親しめるようなイベントの実施を期待します。
また、幅広い新規利用者の開拓やリピーターを増加させ、増収に繋げるために、他のボランティアグループ等と連携することも考えられます。

基本的な考え方（施設の性格・目的等との合致、市民の平等な利用の確保、施設の効用発揮）

合目的性・公平性・効果性

仕様書に基づき適切に管理運営が行われていた。利用時における公平・平等性については、基本的に先着順の予約とし、予約状況をホームページで公開するなどして情報提供に努めた。また、宿泊者は前年度より減少したものの休憩での利用者が増加し、管理経費についても当初計画の範囲内で効率的に執行されていた。

業務内容

機能性・独創性（事業への具体的な取組み方）

流しそうめんなど参加型の自主事業を展開することにより、施設の目的である自然に親しむことの実感を参加者に供与することができたと考える。

責任性・実行性（施設の運営体制や組織）

専任の管理人を配置し、定めた開館日を遵守していた。また、それ以外の日でも施設に駐留し、施設の維持管理や報告を行うなど、積極的に管理運営を行っていた。

明瞭性・規律性（適正な事務や経理）

利用料金収入や施設管理費の支出について適正に処理され、領収書や経理関係調書も整理されていた。施設の保守管理などに関する報告書類も作成されていた。

安全性（安全管理、緊急時等の対応）

消防設備の点検や避難経路の確認及び避難訓練を実施していた。個人情報保護については市の条例に基づき、犯罪防止・秘密保持に努めている。

社会性（環境等への配慮）

ボランティアを募り周辺の清掃を行う宮妻峡クリーン作戦を実施した。

事業収支

経済性

事業収支について当初計画の範囲内において適正に執行された。

団体の経営状態

経営の健全性

財務状況について事業報告書及び収支決算書を分析した結果、問題はないと判断した。

施設概要調書

1. 施設の概要

平成20年度

施設名	四日市市営宮妻峽ヒュッテ		所管課:商業観光課
所在地	四日市市水沢町字冠山22番地		設置年月:平成53年3月
設置目的	自然と親しむ健全な憩いの場を市民に提供することにより、市民の健康の増進を図り、もって市民福祉の向上に寄与する		
設置の根拠 (法令、条例等)	四日市市営宮妻峽ヒュッテの設置及び管理に関する条例		
施設の概要	設備の概要	敷地面積 (㎡)	175.56
		延床面積 (㎡)	214.49
		昭和53年3月31日完成 1階:日本間10帖×3部屋、ホール 2階:日本間10帖×1部屋、日本間6帖×1部屋 約50人が宿泊可能。 炊事場及び便所を併設	
	事業概要	観光客の宿泊・休憩	

2. 運営状況

項目	実施計画	実施内容 (事業報告書)	計画対比
開館日数	131日	290日	159日
開館時間	9:00-17:00	9:00-17:00	

3. 利用実績

項目	実施計画	実施内容 (事業報告書)	計画対比	
延べ利用者数	宿泊者	669人	640人	△29人
	(内一般)	477人	413人	△64人
	(内小中学生)	192人	227人	35人
	休憩者	718人	1,451人	733人
	(内一般)	266人	428人	162人
	(内小中学生)	452人	1,023人	571人
平均利用率	宿泊者	2.51人/日	2.20人/日	△0.31人/日
	休憩者	3.48人/日	5.00人/日	1.52人/日

4. 事業収支

(単位:円)

項目	実施計画	実施内容 (事業報告書)	計画対比
指定管理料	4,000,000	4,000,000	0
利用料収入	700,000	512,350	△ 187,650
事業収入	100,000	83,600	△ 16,400
収入計	4,800,000	4,595,950	0
人件費	2,700,000	2,459,000	△ 241,000
管理費	2,000,000	1,708,352	△ 291,648
消耗品費	700,000	565,377	△ 134,623
燃料費	100,000	83,701	△ 16,299
印刷製本費	0	0	0
光熱水費	240,000	212,055	△ 27,945
修繕料	100,000	5,894	△ 94,106
通信運搬費	150,000	138,617	△ 11,383
広告料	0	0	0
手数料	0	0	0
保険料	50,000	46,700	△ 3,300
委託料	660,000	656,008	△ 3,992
賃借料	0	0	0
事業費(ソフト事業等)	100,000	286,725	186,725
一般管理費	0	141,873	141,873
支出計	4,800,000	4,595,950	△ 204,050
収支	0	0	0

平成20年度 宮妻峽ヒュッテ 運営状況 チェックシート

1. 運営企画

項目	実施計画	実施内容	計画対比	検証・分析等	適否
開館日数	131日	290日	159日	適正に執行された	適
開館時間	(数値設定なし)	(数値設定なし)		適正に執行された	
事業 開催	自然体験事業 清掃活動	流し素麺などの企画 ごみ拾い、草刈り	流し素麺や餅つきなどの実施 「クリーンアップ宮妻」の実施	適正に執行された 適正に執行された	

2. 利用実績

項目	実施計画	実施内容	計画対比	検証・分析等	適否	
延べ利用者数	宿泊者	669人	640人/年間	△29人	年間を通じ、設置目的にあって十分活用された	適
	うち 一般	477人	413人/年間	△64人		
	小中学生	192人	227人/年間	35人		
	休憩者	718人	1451人/年間	733人		
	うち 一般	266人	428人/年間	162人		
	小中学生	452人	1023人/年間	571人		
稼働率	宿泊者	2.51人/日	2.20人/日	△0.31人/日		
	休憩者	3.48人/日	5.00人/日	1.52人/日		

3. 事業収支

項目	実施計画	実施内容	計画対比	検証・分析等	適否
利用料金収入	700,000	512,350	△187,650	繁忙期である5月から9月にかけて土日の荒天が多く、目標の利用が達成できなかったものの収入減については経費の節減で賄うことができた	適
指定管理料	4,000,000	4,000,000	0		
自主事業収入	100,000	83,600	△16,400		
収入計	4,800,000	4,595,950	△204,050		
人件費	2,700,000	2,459,000	△241,000	〔勤務体制：正職1人、臨時2人〕 適正な人員配置や経費の節減を図ることができた	適
管理費	2,000,000	1,708,352	△291,648		
消耗品費	700,000	565,377	△134,623		
燃料費	100,000	83,701	△16,299		
印刷製本費		0	0		
光熱水費	240,000	212,055	△27,945		
修繕料	100,000	5,894	△94,106		
通信運搬費	150,000	138,617	△11,383		
広告料		0	0		
手数料		0	0		
保険料	50,000	46,700	△3,300		
委託料	660,000	656,008	△3,992		
賃借料	0	0	0		
事業費(ソフト事業等)	100,000	286,725	186,725		
一般管理費	0	141,873	141,873		
支出計	4,800,000	4,595,950	△204,050		
収 支	0	0	0		

総合コメント

ほぼ計画通り運営された。利用状況については、延べ利用者数のうち宿泊者数が前年利用者数(669人/年間)を下回ったものの、休憩者は前年度(718人/年間)を上回る結果となった。また、現金受払簿等の経理関係調書や領収書等の証拠書類については、適正に整理されていた。

平成20年度 宮妻峽ヒュッテ 運営状況 チェックシート①-2

項目		事業分析	適否判断
利用実績		運営については計画通り適正に実行された。 宿泊者は前年度から減少したものの、休憩者では上回っており、 総じて昨年を上回る利用があった。	適
事業 収支	収入	繁忙期である5月から9月にかけて土日の荒天が多く、目標の利用が達成できなかったものの収入減については経費の節減で賄うことができた	適
	支出	適正な人員配置や経費の節減を図りつつ適正に業務が遂行された	適